

体験発表会概要

岐阜県立加茂農林高等学校

1 研究目的と内容

岐阜県は繁殖雌牛の飼育頭数より肥育牛の屠畜頭数の方が多く、肥育素牛の生産が追いついていないのが現状である。そのため、肥育素牛の価格が高く肥育農家の経営を圧迫している。さらに、この状況が続くことで県外から多くの肥育素牛が導入されることになり、飛騨牛の肉質の良さが失われブランド価値の低下を招きかねない。

これらの課題を解決するために、二卵移植による計画的な双子生産を行い子牛の生産効率を高める研究を行った。

また、双子生産を行なう中で、虚弱子牛の育成やフリーマーチンの育成という新たな研究課題が見つかった。フリーマーチンはどの性別の牛と組み合わせて飼育することが望ましいのか牛体測定を通して調査した。

2 結果と課題

双子生産は可能であるが、虚弱子牛として生まれてくるリスクが高いため、通常管理とは異なった母牛の栄養管理が必要である。フリーマーチンとの組み合わせについては、去勢と組み合わせると食い負けてしまうため、雌と組み合わせで飼育することが望ましい。